



第46号

発行・編集：福祉のネットワーク永山
事務局：(社福) 多摩市社会福祉協議会
TEL：042-373-5616
令和4年10月

福祉のネットワーク永山だより

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

地域とつながりが少ない人をどう見守るか

第2回 福祉のネットワーク永山定例会
「事例を通して見守りを考える」
7月16日(土)

「福祉のネットワーク永山」の令和4年度第2回定例会が開かれました。「事例を通して見守りを考える」をテーマに、情報交換を行いました。元気なうちに本人や家族、地域は何ができるでしょうか。

父親の近所の人と親しい間柄になることが必要。異変がないか、近所の人に確かめてもらおう！

【事例】
90才の一人暮らしの男性。亡くなった後何日も知られずにいた。



隣近所の見守りは、玄関灯の点灯の様子や、洗濯物が出っぱなしになっていないか、などさりげなく気にすることでもできる！



センサーなど、使えるサービスも知っておこう！



近所の人や新聞がたまっているのに気づいて自主防災の役員につながり、助けることができた例も。

プライバシーに配慮する気遣いも必要！



包括・民生委員

本人が「まだ大丈夫」と、支援を希望していない場合もあります。近所の人や趣味活動の仲間からのアドバイスで包括支援センターなどの専門機関につながることもあるようです。

異変に気付いたときは119番などの迅速な対応が求められますが、地域のお祭りや防災訓練、清掃デーなどのイベントで顔見知りになること、どこにどんな人が住んでいるのか知ることが見守りの第一歩でしょうか。

第3回 福祉のネットワーク永山定例会
「困りごとアンケートと支えあいの仕組みづくり」
9月17日(土)

地域の見守りから、一歩進んだ支えあいの仕組みづくりを検討している諏訪地域の集合住宅の事例を話してもらい、参加者で意見交換を実施しました。

社会福祉協議会の協力
困りごとアンケート

回答 58世帯/140世帯

ゴミ出しに困っている人が各棟に。
※原因の多くは膝腰が痛い
ため困っている人を支えようという住民もいることがわかった！

ボランティア活動として
仕組みづくりの検討

でも管理組合では難しい



困りごとを手伝う仕組みづくりについて話し合いが行われることになりましたが、コロナ禍で延期。その間で離れて暮らしている家族の支援が入るなど状況も変わり、すぐに実現にはなりません。 「仕組みを作るには時間がかかる。支えあえる人間関係をゆっくり作っている」そうです。有志のメンバーで仕組みづくりの検討を始めるところです。

髪道楽 出張理髪

地域活動のご紹介♪

永山4丁目の名店街にある理髪店“髪道楽”の二代目ご主人の深谷さんにお話を伺った。店は昭和50年8月に先代がこの名店街に開業し、平成14年に先代より店を譲り受けて20年となる。最盛期には4人の職人で切り盛りしていたが、最近は新規のお客様は少なく、昔からの長いお付き合いをしているお客様が殆どとなった。

そんな中、コロナ禍で件数は減少しているが、市の高齢支援課より月一回程度に施設や病院へのお出張理髪への依頼があり、店の繁忙期を除き快く対応させていただいている。また、昔からのお客様で病気等の理由により来店出来ない方が、中部包括さんに聞いて直接連絡、あるいは、ケアマネさん経由での依頼もある。自分も店も高齢者の域に入り、今までお世話になった地域に貢献できればと思い、これからも出張理髪への依頼があれば対応させていただきたい。



福祉のネットワーク永山とは

☆福祉のネットワーク永山の事業で新たな仲間づくりを！

福祉のネットワーク永山は、永山地区の各団体や住民同士が連携することで様々な地域課題に向き合い、取り組んでいます。皆さまのご参加お待ちしております！

☆福祉のネットワーク永山 今後の予定

- 定例会：奇数月第3土曜日 10時～12時 諏訪地区市民ホール
- 瓜生小地区防災組織担当者連絡会：偶数月第2土曜日など
- 永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会：偶数月第3土曜日
- まち歩き：毎月第2・最終火曜日 10時永山南公園集合
(体調確認・マスク常時着用・三密回避にご協力ください)
- 健康散歩(見守りウォーキング)：毎週月曜日 15時30分集合
瓜生地区：グルメシティ前 (永山商店街内)
永山地区：グリナード永山2Fマクドナルド前
- 体操サロン：毎月第2水曜日 13時30分～15時30分
諏訪地区市民ホール他



△まち歩きの様子

※新型コロナウイルス等の関係で、予定や場所などを変更する可能性があります。

<ま・ち・か・ど>



タウンハウス永山5-34団地が映画の撮影場所になった。映画は「すべての夜を思い出す」という仮題。劇場公開は来年以降になるが、撮影は5月に行われた。事前に管理組合に対して制作側から協力の依頼があったが、その際に映画の内容は「多摩ニュータウンに暮らす3人の女性たちが、街に積もり重なるさまざまな記憶に出会い、自分の人生を見つめ直す」と説明された。また「タウンハウス永山5-34の雰囲気がとても素敵で、劇中のシーンのイメージに合致している」とも言われた。

永山地域の団地はニュータウンとして紹介されるだけでなく個性のある街になってきたようだ。映画の撮影場所に選ばれたのはその証であろう。

